

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 中央町 2 丁目買物駐車場整備事業
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名 称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる
施策	1	計画的な都市空間づくり
小分類	1	機能的で快適な都市空間づくり
主要な施策	2	都市施設の適正配置
事務事業番号	001	事務事業コード 41112001 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	中央町 2 丁目買物駐車場整備事業費
------	------	------------	--------------------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 北駅前通商店街を利用する市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 北駅前通商店街の買物駐車場 ・場 所 登別市中央町 2 丁目 5 番地 1 ~ 7 (中村薬局横) ・駐車台数 20 台 (内訳) 普通車用 17 台、軽自動車用 1 台、身障者専用 2 台 ・イベント等 年 4 回 (予定)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 北駅前通商店街の買物客への利便性を高めるとともに、地域コミュニティの向上に寄与するイベント等にも使用するなど、消費の拡大を推進し、市内商店街の活性化を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	駐車台数	台	目標値	23				
			実績値	20				
	イベント等回数	件	目標値	4				
			実績値	2				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	6,867					0
合 計				6,867	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	331	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		331	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 北駅前通商店街の買物客への利便性を高めるとともに、地域コミュニティの向上に寄与するイベント等にも寄与するなど、消費の拡大や市内商工業者の活性化を図るため、市が駐車場の整備をすることは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 買物客の利便性を高め、地域の経済波及効果と活性化につながるイベント等に取り組むことで商店街本来の活力を取り戻し、商店街の消費拡大に貢献できるものと考えている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 駐車場を整備したことで、商店街が地域の活性化につながる各種事業を計画し、様々な事業展開を図ることで、買物客等の集客を高め商店街本来の活力を取り戻し、市民や商工業者が潤うことができるまちづくりなど期待できる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 消費の拡大や市内商工業者の活性化を図るため、市が駐車場の整備をして商店街等と連携を図り、各種事業等を行う必要があるがあるのでコスト削減はできないものと判断している。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は、買い物客の利便性を高め、地域の経済波及効果と活性化につながるイベントに取り組むことで商店街本来の活力を取り戻し、市民や商工業者が潤うことができるまちづくりを期待し駐車場の整備をしました。本事業は、単年度事業の取組として実施したもので、本整備事業は終了する。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）